

株式会社エムアンドシーシステム 様



「ファイルサーバーの運用コスト削減のためには、 『まず軽量化ツール、次に管理ツール導入』という順番をおすすめします」

株式会社エムアンドシーシステム システム企画本部 システム企画部
部長 鈴木俊秀氏、課長 津田修治氏、リーダー 田口恭平氏



<株式会社エムアンドシーシステムについて>

丸井グループの情報システムサービス会社。
店舗・カード・Webの三位一体型のビジネスモデル確立に向けた最適なシステムの企画・開発など、丸井グループの多様な事業活動全体を支えている。
設立 1984年、売上高 83億 98百万円(2012年度)。



丸井グループの
3つの事業分野を支える
情報システムを担っている

株式会社エムアンドシーシステム システム企画本部 システム企画部 部長の鈴木俊秀氏(写真左から2番目)、同部課長の津田修治氏(写真右から2番目)、同部リーダーの田口恭平氏(写真中央)に、オーシャンブリッジのファイル軽量化ソリューション「NXPowerLite ファイルサーバエディション」を導入された経緯や導入の効果等について伺いました。

左端：弊社取締役の菅沼、右端：弊社営業部の亀谷

もくじ

1. NXPowerLite をどのように使っているか
2. シミュレーション機能で導入効果を予測
3. 口コミで広まり、サーバーコストの削減に結実
4. 「管理ツール」と「軽量化ツール」の優先順位

NXPowerLite をどのように使っているか

— エムアンドシーシステム(以下 M&C)では、NXPowerLite をどのように使っていますか？

丸井グループ各社、各店舗で作られているオフィスファイルや画像ファイルの軽量化に使っています。ファイルには、たとえば本社等で作られる企画資料やプレゼン資料ファイル、丸井各店舗での売場写真の画像ファイルなどが挙げられます。

これらのファイルは、共有ファイルサーバーによって、M&Cが一括管理しています。NXPowerLiteの「ファイルサーバエディション」を導入し、現場社員に負担をかけることなく、管理者側でファイル軽量化を実行・管理しています。



業務で使われている写真の例

— NXPowerLite の導入経緯について教えてください。

ここ数年、共有ファイルサーバーの容量圧迫に悩まされてきました。課題解決のために複数回にわたって TB 単位での容量追加も行いましたが、根本的な解決には至りませんでした。その原因としては、以下の2つが挙げられます。

(1) 使われていないファイルがなかなか減らない
社内での資料の共有化が進むにつれて、かえって一人

の判断でファイルを削除することが難しくなり、共有サーバー内のファイルは溜まっていく一方でした。

(2) 1つ1つのファイルサイズの増大

ここ数年のデジタルカメラの高画質化の影響が大きいと思いますが、高画質な画像データを使用した資料が増えているのも容量圧迫の一因でした。

こうした背景が重なり、頻繁に各セクションより改善の要望を受けていました。

これらの現状を踏まえると、その都度サーバー容量を増やすのにも限界があります。そこで以下のような形で、共有ファイルサーバーの運用整備を検討し始めました。

- (1) 使われていないファイルの削除 → 不要ファイルを削除するツールの導入
- (2) 1つ1つのファイルサイズの削減 → ファイルサイズを軽量化するツールの導入
- (3) 上記(1)と(2)のツールを用いた、データ保存率の明確化と周知徹底

この2種類のツールの導入によって、ファイルサーバーの運用コストが下げられるかどうか、効果予測を行うことになりました。

いくつかの候補製品の中から、(1)については他社製の「ファイルサーバ管理システム」を、(2)についてはオーシャンブリッジの「NXPowerLite」を選定し、導入した場合のコスト削減効果を検証しました。

シミュレーション機能で導入効果を予測

— 2つのツールのコスト削減効果を検証した結果を教えてください。

それでは順に紹介します。まず「ファイルサーバ管理システム」についてです。

これは不要ファイル候補をリストアップし、別サーバーへ移動したり、任意または自動で削除を実行したりするためのツールです。このツールの有効性を検証するために、いくつかの部署を対象に、既存のデータを下図のとおり3つのパターンに分類し、どの程度のサーバー容量削減が可能かを分析しました。

	未参照データ (2年以上閲覧無)	作成過程データ 名前類似データ	重複データ
部署 A	4.1GB (13%)	15.4GB (47%)	3.6GB (11%)
部署 B	3.3GB (17%)	7.1GB (36%)	0.7GB (4%)
部署 C	7.3GB (17%)	19.8GB (48%)	5.0GB (12%)
部署 D	1.2GB (6%)	5.6GB (28%)	0.7GB (4%)

※カッコ内は使用容量に対する比率

使用頻度が低いデータや重複データの大部分を削除し、名前類似データについてもある程度継続的に削減を続けていけば、およそ 20% 程度のサーバー容量削減が可能であることがわかりました。

続いて「NXPowerLite」です。オーシャンブリッジに相談したところ、NXPowerLite ファイルサーバエディションの無料体験版を用意していただけました。無料体験版には「シミュレーション機能」がついており、軽量化を行った場合の削減容量をリスクゼロで知ることができたため、2部門でシミュレーションを行った結果、下図のような結果になりました。

ファイル形式	軽量化前	軽量化後	削減率	軽量化前	軽量化後	削減率
Excel	47,439KB	36,794KB	10.645MB 22%	8,578MB	4,912MB	3,666MB 42%
Word	1,379KB	46KB	914MB 66%	21MB	18MB	3MB 12%
PowerPoint	1,330KB	445KB	884KB 66%	1,758MB	962MB	796MB 45%
Jpeg (画像)	13,349MB	6,440MB	6,909MB 51%	2,435MB	932MB	1,503MB 61%
合計	62,257MB	43,726MB	18,530MB 29%	12,794MB	6,825MB	5,969MB 46%
削減率※	34,302MB	34,302MB	0MB	7,654MB	7,654MB	0MB
合計	96,560MB	78,028MB	18,532MB 19%	20,448MB	14,800MB	5,648MB 27%

※対象外：圧縮ファイル.jpeg以外の画像(.psd.ai.eps).PDF等
※現在リリースされている NXPowerLite ファイルサーバエディション最新版は、.PDF ファイルにも対応しています。

この両方のツールを導入することで、サーバー容量を 30 ~ 40% 程度(1.5 ~ 2TB)削減できる見込が立ちました。ツールの導入費用と、現状のまま運用した場合の今後のサーバー増設費用を比較しても、前者のほうがコストを抑えられることがわかりました。